

せったん

第164号 2016年7月15日

● 発 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階
● 行 TEL078-393-1801 FAX 078-393-1802

北摂・丹波支部



《感想文》 接遇研修会 相手を思いやる気持ち 形にして伝える術とは 三田市・丹波市で開催

北摂・丹波支部は、5月14日に三田市総合福祉保健センターで、6月18日には丹波市柏原住民センターで接遇研修会「信頼感を育てるコミュニケーションスキル」を開催。マネジメントコンサルタントの松田幸子氏を講師に、三田会場に24人、丹波会場に12人が参加した。丹波会場に参加した丹波市・けやきクリニック・スタッフの中道絢子氏の感想と、参加者から寄せられた声の一部を掲載する。



グループに分かれ、ディスカッションを行い、取り組みを交流(三田会場)

・チェンジオブペースやサンドイッチ法など、できる限り相手の気分を害さずに対応する方法や、傾聴の大切さを再度理解できました。自分のできていないところやもつと他の人に教えたところとがたくさんあったので、活用していきたいと思えます。(丹波会場)
・普段何気なくやっている受付業

・今回も改めて気付かされることが多々あり、参考になりました。他院の方ともお話させていただくことで、視野も広がりました。最後のチェンジオブペースはとても参考になりました。相手に寄り添うことが安心感、信頼感につながることも頭に置き、今後意識して取り組みたいと思います。(三田会場)
・私は口下手で、上手に伝えることができないので、今回の研修は役に立ちました。相手への思いやりの気持ち、いかに相手に安心感を与える表現、表情を対話式に体験できてよかったです。(三田会場)

今回、接遇研修会「信頼感を育てるコミュニケーションスキル」に参加させていただきました。松田幸子先生の研修会は実習を交えたもので、他院スタッフとのロールプレイングや意見交換を通し、お互いの刺激になり大変有意義な時間となりました。
講義の始めに、「頭で分かっていることを行動に移せるとは限らない」と松田先生のお言葉がありました。相手に対する気持ちは行動に表さなければ届きません。また、相手が受け入れてくれなければ自己満足になってしまいます。患者さんに安心感をもっていただき、そこから信頼につながるには、相手を思いやる気持ちを形にして伝えることが必要であるということと、そしてそれを伝える術を今回の研修会を通して学びました。
近年、「医療はサービス業である」とよく耳にします。患者さんが病院を選ぶ時代であり、われわれは選ばれる医療機関をめざさなければなりません。

参加者の声

【丹波市・けやきクリニック
スタッフ 中道 絢子】
スタッフ各々がホスピタリティを備え、患者さん一人ひとりに寄り添えるクリニックをめざしていきたいと思えます。

スタッフ各々がホスピタリティを備え、患者さん一人ひとりに寄り添えるクリニックをめざしていきたいと思えます。
・今回も改めて気付かされることが多々あり、参考になりました。他院の方ともお話させていただくことで、視野も広がりました。最後のチェンジオブペースはとても参考になりました。相手に寄り添うことが安心感、信頼感につながることも頭に置き、今後意識して取り組みたいと思います。(三田会場)

さらなる患者負担増は中止を！ 署名にご協力ください



政府が次々と計画する患者負担増案を阻止しようと、協会は「ストップ！患者負担増」請願署名に3万筆を目標に取り組んでいます。現在、県下で1万5千筆を超え、北摂・丹波支部では326筆を集めています。支部目標1000筆達成へ、ぜひ今後ともご協力ください。もう一回り、ご家族、スタッフ、患者さんへのお声かけをお願いします。

署名用紙のご注文は、TEL 078-393-1807、FAX078-393-1820まで。

兵庫県保険医協会北摂・丹波支部 第28回支部総会のご案内

2016年6月 北摂・丹波支部支部長 森下 順彦

記念講演

医院閉院の準備と留意点

日時 7月23日(土) 総会議事 午後5時30分～、講演 午後6時～8時
 会場 三田市キッピーモール6階「講座室」、懇親会は「三福」(午後8時～)
 (三田市駅前町2番1号 TEL079-559-5154。三田駅前スグ)
 講師 税理士法人日本経営 医療事業部 次長 小松 裕介 氏
 参加費 無料(懇親会無料)

先生方におかれましては日々ご清栄のこととお喜び申し上げます。標記の通り、北摂・丹波支部第28回支部総会を開催し2015年度の支部活動を振り返り、新年度の活動方針についてご意見を頂きたいと存じます。

記念講演は「医院閉院の準備と留意点」をテーマに行います。閉院に関しては、いずれは直面する問題であり、そのまま閉院するか、継承の場合親族内か第三者へか、個人か法人かなど、さまざまな問題が考えられ、今から知識を得ておくことが重要になります。

記念講演では、税理士法人日本経営で閉院相談などのコンサルティング業務に携わっておられる小松裕介氏から、最近の閉院をめぐる動向などについてお話しいたします。

なお、終了後に講師を交えた懇親会を予定しておりますので、あわせてぜひご参加ください。

お問い合わせは協会事務局/TEL078-393-1807・9 担当・三田、石本まで

当日の出欠は返信 FAX にて Fax 078-393-1820

兵庫県保険医協会 北摂・丹波支部

第28回総会(7/23・土)参加申込並びに委任状

総会議事ご出席 ご欠席(議事を議長に委任する)
 記念講演ご出席() ご欠席
 懇親会ご出席 ご欠席
 地区 (三田市・篠山市・丹波市) 医療機関名 ()
 ご芳名 () 会場の地図(要・不要)

医療安全管理対策研修会

ヒヤリ・ハット対策

グループワークで交流

北摂・丹波支部は6月25日、三田市(総合福祉保健センター)で医療安全管理対策研修会「診療所でのヒヤリ・ハット対策」を開催。済生会兵庫病院・感染管理認定看護師の小川麻由美氏が講演し、司会を安部治郎副支部長が務め、会員・スタッフら27人が参加



グループに分かれインシデント発生時の対応策を話し合った。小川氏は1件の重大事故の背景には29件の中程度の事故、300件の小さな事故(インシデント)が起こっているというハイインリッヒの法則を紹介。インシデント・アクシデントレポートを記載する習慣をつけ、医院全体で問題解決を図ること、医療安全マニュアルの作成・整備・見直し、医療事故を防ぐことにつながると強調した。後半ではグループワークを行いながらインシデント発生時の対策を参加者同士で交流し、好評を得た。(次号に参加者からの感想、寄せられたアンケートを掲載予定)

「篠山市の医療をよくする会」第9回総会 篠山の地域医療守るため 運動強めよう



地域医療構想の問題点を指摘する今西氏

北摂・丹波支部が参加する「篠山市の医療をよくする会」は5月29日、篠山市民センターで第9回総会を開催し、市民ら10人が参加した。総会議事では、兵庫県社

会保障推進協議会が行った「2015年自治体アンケート」を基にし、篠山市との交渉など、活動について報告があった。引き続き国保税の引き下げ、要支援サービスの継続など、篠山市の医療・介護の改善を求め、運動を進めることが確認された。また、記念講演では兵庫の地域医療を守る会代表の今西清氏が「篠山市の地域医療と介護を守る」をテーマに講演した。

今西氏は都道府県ごとに策定を進めている地域医療構想について、2025年には団塊世代が後期高齢者になり、医療ニーズが増えることが予想されるにもかかわらず、医療費削減のため病床を削減しようとしていると指摘。篠山市だけでも現在の460床から大幅な削減が必要と試算されており、県の一方的な病床再編を許さない運動が必要と強調した。